



慶進中学校・高等学校  
進路部  
令和6年2月29日発行

令和6年3月号

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。今後の皆さんの活躍を期待します。さて、国立大学の前期試験が終わり、長かった受験勉強も終盤を迎えています。しかし、これから中期試験や後期試験があり、まだ受験が終わったわけではありません。前期試験の結果が気になり、ついつい勉強に集中できない気持ちになるかもしれません。でも、ここでもう一度ふんばることで、今後の人生が大きく変わることもあります。実際に過去の多くの先輩が、前期試験終了後すぐに試験対策に取り組んだことで、中・後期試験で合格を勝ち取り、満足した大学生活を送りました。皆さんも最後まで粘って、合格を勝ち取ってください。がんばる皆さんを、最後まで応援しています。

1・2年生は、学年末試験が終われば、4月の始業式まで1か月以上あります。この期間は自分の実力アップをじっくり図れる貴重な期間です。ここで、計画性をもってこれまでの復習と弱点補強をすることで、大幅な成績の伸びが期待できます。4月の始業式の後には、また忙しくなりますよ。それまでの期間を無為に過ごさないように！

## 最後までがんばれ3年生！未来は君たちの手の中に！！

### ●国立大学の中・後期日程に向けて(3年生)

(『蛭雪時代2022年2月号』の記事をもとに作成)

前期試験終了後、一息ついて切り替えができれば、スタディールームに通うなどすぐに中・後期試験対策に取りかかしましょう。同級生が次々と受験生モードから卒業していき、早く解放されたい気持ちがMAXになる時期です。でも、ここで気を抜いたら一生後悔することもあります。前期試験の結果に自信がある人もそうでない人も、一旦は前期試験が不合格だったことを前提にして、今すぐ中・後期試験の対策を始めましょう。後期試験まであと約10日間の辛抱です。この努力は必ず自分に報いてくれます。

中・後期試験の志願倍率(=志願者数÷募集人員)は、超高倍率になりがちですが、前期試験に合格した人や、前期試験に不合格でも受験をやめた人は受験会場に来ません。下の【資料1】を見ると、欠席率が大変高く、また募集定員よりも多くの合格者を出している大学が多いことが分かります。結果的に実質倍率(=受験者数÷合格者数)は1~2倍という低倍率になる大学も多数ありますので、出願したからには、後期試験までがんばって、合格を掴みましょう。

中・後期の試験問題の受験科目に小論文や面接が課される場合、対策が間に合うか不安になる人もいるでしょうが、前期終了後の約2週間で対策すれば問題ありません。短期決戦に向けて添削指導、面接指導など、こういう時こそ学校の先生の力を借りてください。例年、3月にも制服で登校して先生の指導を受ける3年生がたくさんいます。個別指導になりますので、早めに先生とアポイントメントを取ってください。慶進高校は、最後までがんばる皆さんを全力で応援します！

【資料1】 近隣大学の昨年度(2023年度)の後期試験の実施状況(一部を掲載)

大学	学部	日程	学科	募集人員	欠席率	志願者	受験者	合格者	実質倍率		
									22年度	21年度	20年度
広島大	総合科学	後	総合科学	18	73.5%	166	44	26	1.7	2.6	1.7
広島大	工	後	応用・生物系	10	76.3%	80	19	11	1.7	1.7	1.0
山口大	経済	後		56	73.6%	530	140	74	1.9	1.2	2.0
山口大	工	後	機械工	18	71.5%	130	37	24	1.5	1.2	3.4
山口大	医	後	医	7	86.6%	254	34	11	3.1	2.1	4.6
山口県立大	国際文化	後	国際文化	6	87.7%	106	13	12	1.1	3.9	4.6
九州大	法	後		33	61.7%	287	110	45	2.4	2.6	2.7
北九州市立大	外国語	後	英米	12	81.0%	137	26	22	1.2	3.9	1.3

### ●国立大の追加合格について

(「大学へ行こう!」HPの記事をもとに作成)

国立大学の中には、定員が埋まらなかったときに、追加合格を出す大学があります。国立大学の追加合格は私立大学よりも数が少なく、追加合格が発表されるタイミングもかなり遅いため、あまり知られていないのが現状です。しかし、毎年何人もの学生が国立大学に追加合格をして入学していますので、国立大学が第一志望なら追加合格について知っておいた方がいいでしょう。前期日程・後期日程ごとに欠員が生じた場合に追加合格者が決定されますが、同じ日程の3月28日から行われます。発表方法は各大学によって異なりますが、大学のHPで追加合格者の予告・発表があり、合格者に電話連絡が行くことが多いようです。

追加合格を発表しても定員が充足しない場合は2次募集をすることもあります。試験内容は、「共通テストの結果のみ」または「共通テストの結果+書類審査」の方法を取る大学が多いです。出願期間が短く、直接大学に出願などハードルは少々高いですが、国立大学を目指す受験生にとってはチャンスになります。

### 国立大学合格状況 2/15 現在

(総合型選抜・学校推薦型選抜のみ)  
 筑波大学 人文・文化学群 ……………1名  
 岡山大学 工学部 ……………1名  
 山口大学 教育学部 ……………1名  
 山口大学 経済学部 ……………1名  
 山口大学 医学部[医] ……………2名  
 九州大学 法学部 ……………1名  
 山口県立大学 国際文化学部 ……………1名  
 山口東京理科大学 工学部 ……………4名  
 周南公立大学 経済経営学部 ……………1名  
 周南公立大学 人間健康科学部 ……………1名  
 周南公立大学 情報科学部 ……………1名  
 下関市立大学 経済学部 ……………1名  
 北九州市立大学 経済学部 ……………1名

### ●先輩の合格体験記

後期試験で合格した先輩方の「後輩へのメッセージ」を抜粋して掲載しています。

広島大学理学部	山口県立大学国際文化学部	九州大学法学部
共通テストは目標より数十点下で、前期はダメでしたが、後期でなんとか合格できました。数学と英語は特にがんばってください!! すぐにはのびないし、早いうちからできると自信につながります。	前期が終わっても気を抜かず後期の対策をしてください。手応えがあっても不合格になる可能性は充分にあります。山口県立大学の後期試験は面接なのですが、みんな面接に慣れていないので、しっかり対策をしていけば合格できます。「ああすれば良かった」と今更になって後悔していることはたくさんあります。皆さんは後悔することが無いよう、全力で試験に臨んでください。応援しています。	前期の東大は、試験の手応えも良く、また模試でもA判定だったにも関わらず不合格でした。たとえ自信があっても、発表までは「落ちた」と思っておいた方がいいです。前期の合格発表から後期試験まで2日しかなく、ほぼ後期対策ができませんでした。

### ●新課程入試のポイント(1・2年生)

(河合塾 Kei-net の記事より抜粋)

#### ① 共通テストの出題教科・科目は、7教科21科目へ再編

2025年1月に実施される共通テストでは、新教科「情報」を加えた7教科21科目へとスリム化・再編されます。「地理歴史」「公民」では出題科目が大きく再編されるほか、数学②では「数学Ⅱ、数学B、数学C」の1科目となるほか、試験時間が延長されます。国語では試験時間延長のほか、問題構成・配点が変更されます。(【資料2】参照)

#### ② 「地理歴史」「公民」2科目選択時には、選択不可の組み合わせも

「地理歴史」「公民」は出題科目が大きく変更されます。出題科目6科目のうち、最大2科目の選択が可能ですが、『地理総合/歴史総合/公共』を選択する場合は、もう1科目が組合せ不可となるパターンがあるので注意が必要です。

#### ③ 既卒生向けの経過措置は？

現行の教育課程を履修した志願者(現高校3年生以上)に対しては、現行の共通テスト出題教科・科目が経過措置科目として出題されます。新教育課程の「情報Ⅰ」は、「旧情報」として別科目が設置され、旧課程「社会と情報」「情報の科学」の共通部分に対応した必答問題と、「社会と情報」「情報の科学」に対応した選択問題が出題されます。

#### ④ 国立大は原則6教科8科目が必要

各大学の2025年度入試の教科・科目が明らかになってきました。国立大では共通テストで6教科8科目を必須とする大学が一般的です。対して公立大では3~4教科の少数教科で受験可能などもあります。ひとくちに6教科8科目といっても、文系学部は、外国語、数学2科目、国語、新教科「情報」に加えて、基礎が付いた理科と、地歴公民から2科目で合計8科目です。一方、理系学部は、外国語から情報までは文系学部と同じで、理科2科目と地歴公民から1科目です。理科は基礎が付かない4科目から選択するよう求める大学が多くなっています。教育学部や文理融合型の学部などでは、この文系パターン、理系パターンのどちらでも受験できるようになっているケースもみられます。地歴公民の「地理総合、歴史総合、公共」は、北海道大、東北大、東京大、名古屋大、京大、大阪大、九州大など難関大では選択科目として認めていません。難関大をめざすなら、地歴公民は残りの5科目(「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「公共、倫理」「公共、政治経済」)から準備することになります。国立大学の個別試験(2次試験)においては、従来通り、文系学部は英語を中心に国語・数学・地歴公民などから1~3教科、理系学部は英語・数学・理科の3教科を課す大学が主流です。数学の出題範囲は、文系学部が数学Ⅰ・Ⅱ・A・B(数列)・C(ベクトル)と共通テストで課される数学2科目の範囲とほぼ同じ大学が多く、理工系や医歯薬学系では、文系の出題範囲に加え数学Ⅲと数学Cの「平面上の直線と複素数平面」までが出題範囲となる傾向があります。

#### ⑤ 私立大は一般方式、共通テスト利用方式とも2~3教科が主流

私立大の一般選抜には、大学独自の試験を課す「一般方式」と、共通テストの成績を利用する「共通テスト利用方式」があります。一般方式では多くの大学が2~3教科を課します。課される教科・科目は文系学部、理系学部によって異なりますが、国立大の試験の教科・科目を参考に準備すればよいでしょう。また、私立大は複数の入試方式を設定している大学が多くみられるのも特徴です。募集人員は各方式均等ではなく、主流の3教科型入試の募集人員が多くなっているケースが多くみられます。安易に受験科目を絞るのではなく、バランスよく学力をつけるような学習を心がけましょう。共通テスト利用方式も受験に必要な教科・科目数は多くの大学が2~3教科としています。共通テストの教科「情報」は国立大とは異なり、必須で課すケースはほとんどみられず、他教科との選択として利用するケースが大多数を占めます。また方式により「情報」を利用しないケースもみられます。現時点で、私立大では共通テストで「情報」を受験していなくても、ほとんどの大学では受験可能となりそうです。

2025年度共通テスト 出題教科・科目 【資料2】

教科	出題科目	試験時間
国語	「国語」	90分
地理歴史	「地理総合、地理探究」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」 6科目から最大2科目選択 ただし公民2科目の組合せ、公共2科目の組合せ、公共1科目で選択した科目と同一名称を含む科目の組合せ不可	1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)
公民	「公共、倫理」「公共、政治・経済」	
外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	1科目選択 英語は別時間枠でICレコーダーを使用する試験60分 80分 ICレコーダーを使用する試験30分 (解答時間30分)

教科	出題科目	試験時間
①	「数学Ⅰ、数学A」「数学Ⅰ」	1科目選択 70分
②	「数学Ⅱ、数学B、数学C」* *数学B・数学Cについては、各2項目出題のうち3項目を選択解答	70分
理科	「物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎」* *いずれか2科目の内容を選択解答 「物理」「化学」「生物」「地学」	5科目から最大2科目選択 1科目60分 2科目130分 (解答時間120分)
情報	「情報Ⅰ」	60分

### 3月の進学スケジュール

- 1日(金) 卒業式
- 8日(金)~ 公立大中期日程試験
- 12日(火)~ 国立大後期日程試験
- 12日(火) 卒業生との交流会(A)
- 14日(木)・15日(金)・18日(月) 保護者会
- 16日(土) 大学受験報告会(SJ)
- 18日(月) テーマ発表会(IA)
- 19日(火) 終業式